平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	環境農政部水源の森林推進課
410 ※記入不要		

要望問題

水源林業務支援システムの高度化について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

地図情報システムを中心にした「水源林業務支援システム」は、平成 15 年度、平成 16 年度の 2 ヶ年間で、自然環境保全センターの技術的指導・助言をいただきながら、専門業者に委託して開発しており、当面の目標であるプロトタイプシステムの開発は今年度に完了する予定である。

さらに、平成 17 年度以降、システムの高度化等を内容とした二次開発を行うこととしているので、引き続き、技術的指導・助言をいただきたい。

○二次開発の内容(予定)

１．水源林業務支援システムの高度化
　・水源林経営情報の統合
　・現地調査支援システムの開発
　・確保情報などのデータベース化
２．外部システムとの連携
３．水源林情報の利活用システムの開発

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター研究部

部　　署：森林保全グループ

対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　(①、②、④の場合)

水源林整備に関する新手法検討調査（H14-18）

対応の内容等

研究課題として平成 17 年度以降、システムの高度化等を内容とする二次開発を進める。なお、従前の取り組みでは、基本構想、基本設計などを保全センターが行ったのち、専門業者にプログラム開発などを外注することで、実情に即したシステムを短期間に効率的に開発してきた。今後も同様な取り組みを行っていきたいと考えている。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内

備　考